

3 自閉症・情緒障がい(LD・ADHD等を含む)の指導

(1) 自閉症・情緒障がい(LD・ADHD等を含む)通級指導教室の対象となる子どもは通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする子どもが、通級による指導の対象となります。



※「特別支援教育の実践の手引～一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援～」千葉県総合教育センター 平成29年度版より

①自閉症とは (※ P70)

自閉症は、①社会性の障害、②コミュニケーションの障害、③固執行動や常同行動、こだわり(想像力の障害)を特徴とし、通常3歳位までに現れる。これら三つの基本的な障害特性に加え、感覚面に過敏さや過度の鈍感さがあるなど配慮を必要とする。

②情緒障害とは (※ P65)

情緒障害とは、情緒の現れ方が偏っていたり、その現れ方が激しかったりする状態、自分の意思ではコントロールできないことが継続し、学校生活や社会生活に支障のある状態である。

③LD(学習障害)とは (※ P73)

LD(Learning Disabilities)とは、全般的な知的発達の遅れはないが、学習に必要な基礎的能力のうち、一つないし複数の特定の能力についてなかなか習得できなかったり、うまく発揮することができなかったりすることによって、学习上、様々な困難に直面している状態である。教育用語としての定義では次のような状態を指す。

ア聞く能力：他人の話を正しく聞き取って、理解すること。 イ話す能力：伝えたいことを相手に伝わるように的確に話すこと。 ウ読む能力：文章を正確に読み、理解すること。 エ書く能力：文字を正確に書くこと。 筋道立てて文章を作成すること。 オ計算する能力：暗算や筆算をすること。 数の概念を理解すること。 カ推論する能力：事実を基に結果を予測したり、結果から原因を推し量ったりすること。

④ADHD（注意欠陥/多動性障害）とは（※ P74）

ADHDとは、おおよそ、身の回りの特定のものに意識を集中させる脳のはたらきである注意性に様々な問題があり、又は、衝動的で落ち着きのない行動により、生活上、様々な困難に直面している状態である。教育用語としての定義は次のような状態を指す。

典型的には、年齢あるいは発達に不釣り合いな程度において、以下のような不注意、又は衝動性・多動性の状態を継続して示す。

- ア 不注意：気が散りやすく、注意を集中させ続けることが困難であったり、必要な事柄を忘れやすかったりすること。
- イ 衝動性：話を最後まで聞いて答えることや順番を守ることが困難であったり、思いつくままに行動して他者の行動を妨げてしまったりすること。
- ウ 多動性：じっとしていることが苦手で、過度に手足を動かしたり、話したりすることから、落ち着いて活動や課題に取り組むことが困難であること。

上記の症状は・・・

単独で現れるだけでなく、①～④の状態が重複していることもあります。発達障害者支援法では、「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるもの」と発達障がい定義しています。

最近では・・・

判断基準の改定（平成25年）で、広汎性発達障がい（PDD）が自閉症スペクトラム障がい（ASD）と言われることが増えてきました。今までは広汎性発達障がい（PDD）の中に自閉症・アスペルガー障がい等が含まれていましたが、これらの細かい分類を無くし自閉症スペクトラムという大きな一つのくりにまとめられるようになりました。

（2）実態把握について

指導が始まるまでに、保護者から子どもの家庭での様子（好きなこと・苦手なこと、身体面で注意すること、習い事等）を聞いたり、学級担任から在籍学級での様子（友達との関わり、集団生活の様子、勉強面・生活面等）を聞いたりして、実態把握をしておきましょう。



また、子どもはほとんどの時間を在籍学級で過ごしているので、在籍校を訪問することも大切です。在籍学級での様子（一斉指導での取り組み具合、友達との関わり方、集団への参加の仕方、整理整頓等）を参観し、在籍学級での実態を把握することで、今後の指導に役立てることができます。

(3) 指導について

① 指導の前に

子どもは、初めての場所や初めての人に不安や緊張を持ちながら来室してきます。保護者や学級担任から事前に聞き取ったことをもとに、好きなものや得意なことを話題にしたり、一緒に活動したりして、子どもが安心して来室できるようにしましょう。

興味・関心があるものを通して、得意なことを伸ばしながら、苦手なことにも取り組めるよう一人一人のねらいに応じた指導をしていきます。



② 指導内容

★情緒の安定を図ります。

- ・コミュニケーション
- ・感情や行動のコントロール
- ・生活習慣
- ・運動、動作
- ・振り返り
- ・指示に合った行動
- ・学校生活のルール
- ・自己理解を深める

○こだわりの軽減、行動や感情のコントロール方法を学習します。

○自分の気持ちの伝え方等を学習します。

表情シートがあると、イラストを見ながら、その時の気持ちを探して伝えることができます。



★社会性の発達を促します。

- ・コミュニケーション
- ・友達との関わり方
- ・遊びのルール
- ・生活習慣
- ・集団のルールやマナー
- ・ソーシャルスキルトレーニング

○ルールのあるゲーム等の活動を通して、人とのかかわり方や集団生活に必要なルールを学習します。

★学習や運動等の苦手さを軽減し、自信を高めるための指導、支援をします。

- ・学習への意欲（姿勢、身体の向き、持ち物）
- ・学習のルール
- ・視知覚認知（目の動き、図形や文字のとらえ方）
- ・筋道を追って話す
- ・話を聞き取る
- ・漢字の読み、書き
- ・文字や作文を書く
- ・図形
- ・数量の概念
- ・四則計算

○自分の苦手なところを理解し、その改善を目指す課題に取り組めます。


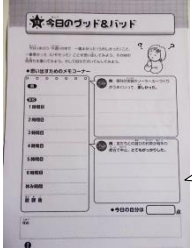
○パソコン、トランプ、工作、絵、模型、折り紙等、指先を使った学習をします。

○一人一人の実態に応じて、トランポリン、ボール運動等を通した身体の動かし方や感覚機能を高める学習をします。


○工夫された教材を用いて、わかりやすく、楽しみながら取り組めるような学習をします。

③ 指導例


小学校 90分 (個別指導 自閉症・情緒)

時配	指導内容 ◇ねらい
10分	(始めの会) ・学習内容の確認 ・連絡帳の記入 ・日付・今の気持ち ・フリートーク (連絡帳) 
15分	(振り返り)  <p>前日や当日の授業中や業間休みの出来事等について話をします。</p> <p>◇その時の言動にも注目させるようにします。</p>
15分	(着座での学習) ・SST ・目と手の協応 ・手先の作業等 <p>児童の実態に合わせて、組み合わせて行います。</p>
5分	休憩 (リラックスコナー)
15分	(運動) ・ストレッチ ・ボール ・縄跳び ・トランポリン ・風船バレー等 <p>◇身体の動かし方(スムーズに動かすこと)を練習します。</p>
15分	(ゲーム) ・カードゲーム ・すごろく ・黒ひげ危機一髪 ・ジェンガ ・人生ゲーム等 <p>◇簡単なルールを理解し、勝敗を受け入れられるようにします。</p>
15分	(終わりの会) ・活動の振り返り ・連絡帳の記入 ・次回の予定の確認

小学校 90分 (個別指導 LD・ADHD)

時配	指導内容 ◇ねらい
10分	(始めの会) ・あいさつ ・学習内容の確認 ・振り返り <p>日頃の楽しかったことや困ったことなどの話をします。</p>
20分	(身体の体操) ・矢印体操 ・まねっこ体操 <p>◇左右の概念を楽しく学習します。</p>
15分	(あたまの体操) ・点つなぎ ・ジオボード  <p>◇形や漢字がわかりづらいなど空間把握が苦手な子へ視覚イメージを高めます。</p> ・きくきく体操 <p>◇聞く力を身につけるため、楽しみながら聞き取る練習をします。</p>
5分	休憩
15分	(教科の補充) ・ひらがな、カタカナ、漢字、計算等、特性に応じた学習を中心に行う。 <p>◇視覚的な教材・教具を使って、「できる！わかる！」を大切に、達成感を味わえるようにします。</p>
15分	(ゲーム) ・あわせて10!たしざんゲーム ・九九カルタ ・漢字カルタ <p>◇ゲームをしながら、意欲的に学習をさせます。</p>
10分	(終わりの会) ・活動の振り返り ・次回の予定の確認

小学校 90分 (ペア指導)

時配	指導内容 ◇ねらい
10分	<p>(始めの会)</p> <ul style="list-style-type: none"> あいさつ 司会は手順表を見ながら進行できるようにします。 司会を決めて、進行する。 学習内容、目標の確認 <p>◇活動の見通しをもてるようにします。</p>
10分	<p>(聞いて話そう)</p> <ul style="list-style-type: none"> タイマーを3分間に設定し、教師も含めて3人でしりとりを行う。 話す人にマスコットを渡し、順番がわかりやすいようにする。 <p>◇友達の話聞いて、話す順番を守ります。</p>
15分	<p>(ジェスチャーで相手に伝えよう)</p> <ul style="list-style-type: none"> 始めに教師が見本を示す。 出題者は、数枚の絵カードから選択して問題を出す。 <p>◇相手にわかりやすく伝えます。</p>
10分	<p>休憩</p> <ul style="list-style-type: none"> 2人で話したり、遊んだりできるようにする。
10分	<p>(白黒つけましょう！)</p> <ul style="list-style-type: none"> ルールを確認する。 30秒で速く白黒を裏返す。  <p>勝敗を受け入れられるよう、事前に目標を確認しましょう。</p> <p>◇遊びのルールを理解します。</p>
25分	<p>(カードゲーム)</p> <ul style="list-style-type: none"> UNO、トランプを用意し、2人で相談して決めるようにする。 <p>◇ルールを守って、ゲームをします。</p>
10分	<p>(終わりの会)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の学習のふり返り 次回の予定の確認

教材・教具の紹介

同じ教材でも、
使い方でねらい
が変わります。

(目と手の協応・手先)

◇目と手の協応性を高めます。



蝶結び



ペグさし



折り紙での工作

(運動) ◇自分の身体の動かし方を学習します。

◇身体の動きの調整をします。



バランスボール



バランスコ



トランポリン



スクーターボード

(ゲーム) ◇ゲームのルールを学び、感情をコントロールします。



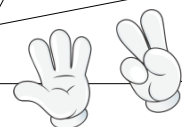
ツイスター



ブロックス

ジャンケン準備がいらず、すぐにできます。
「あいこ」は間違えにくいですが「勝ち」「負け」と出すものを変えると難易度が変わります。

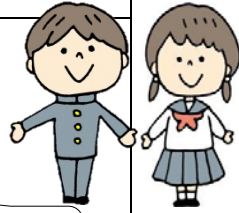
あとだしジャンケン



中学校 100分（個別指導）

中学校 100分（小集団指導）

時配	指導内容 ◇ねらい
10分	(始めのあいさつ) ・学習内容の確認 ・本時のめあての確認 ・ストレッチ ◇気持ちを切り替え、学習に臨めるようにします。
20分	(振り返り) ・振り返りシートに書いた自分の気持ちの言葉から今週の出来事について振り返りをする。 ・困ったことがあれば、改善策を一緒に検討していく。 ◇自分のことを話したり文字に書いたりして表出します。
20分	(SST) ・学校生活 ・学習の仕方 ・行事の過ごし方 ・余暇活動 ・自分の将来 ・人間関係等について考えを深める学習をする。 ◇自分で活用できるような学習のやり方やより良い日常生活の過ごし方を考えます。
10分	休憩
20分	(ゲーム又は運動) ・トランプ ・オセロ ・将棋等 ◇身体の動かし方を学びます。 ◇友達との遊びにつながるゲームをします。
10分	(本時の学習のふり返し) ・連絡帳の記入
10分	(リラックス) ・制作活動や読書、パズル等の気持ちを落ち着かせる活動をする。 ・次時の予告 ・終わりのあいさつ ◇自分に合った余暇の過ごし方を見つけ、興味の幅を広げます。



◇自分のことを話したり文字に書いたりして表出します。

◇自分で活用できるような学習のやり方やより良い日常生活の過ごし方を考えます。

◇身体の動かし方を学びます。

◇友達との遊びにつながるゲームをします。




◇自分に合った余暇の過ごし方を見つけ、興味の幅を広げます。

時配	指導内容 ◇ねらい
5分	(始めのあいさつ) ・学習内容の確認
40分	(状況理解) ・ある状況においての他者の気持ちを考える学習をする。 ※必要に応じて司会を決める。 1. 自分の考えをまとめる。 2. まとめた意見を発表する。 3. グループの友達の意見を基に自分の意見を考え直す。 4. みんなの意見を共有する。 ◇同年代の友達の意見を聞いたりかかわり方を学んだりします。 ◇他者の気持ちを考える力をつけます。
10分	休憩 ◇休憩中に学校であったことなどを聞き、みんなで気持ちを共有する機会を設けます。
40分	(SOS!) ・SSTボードゲームで行う。 1. 困った状況においてどのように行動すればよいのか考える。 2. 自分の意見を自由に伝え、みんなの意見をまとめる。 3. 教師側からもヒントを出し、自分に置き換えて考える。 ◇自分で対応する力や、SOSの出し方を知ります。
5分	(本時の学習のふり返し) ・終わりのあいさつ

④ 保護者との連携について

子ども一人一人の発達段階や実態に応じた指導を行うためには、保護者との連携は不可欠です。連携によって共通理解を図ることができ、指導目標や対応方法などが明確になります。また、保護者の思いや願いを共有することができ、今後の支援の見通しをもつことができるようになります。

<p>連携に関わる資料</p>	<p>【入級時の連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入級が決まり、保護者は期待と不安がいっぱいです。まず、通級指導教室がどのような教室で、どのような指導を行うのか知ってもらうことが大切です。保護者、子どもが安心して通えるように面談を進めましょう。 ・入級の主訴を確認し、子どもがどのような姿に成長してほしいと願っているのかを丁寧に聞きましょう。これは、課題を克服した子どものイメージ像であり、指導終了の目安にもなります。 	<p>○確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の思いや願い ・これまでの経緯（発達過程、療育、相談歴、教育歴等） ・学級の様子、困り感 ・発達検査等 ・通級指導教室の指導終了時の目標設定
<p>〈乳幼児期・就学前〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成育歴 ・療育記録 ・発達検査等 ・ライフサポートファイル ・関係機関 	<p>【通級開始後の連携】</p> <p>◎定期的な面談をし、指導内容を確認しながら指導を進めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校入学後の学校生活について、どのような困り感があるのか、子ども、保護者のニーズを受け止めることから始まります。 ・通級指導教室の指導後に連携を図ります。通級指導教室の学習の様子を伝え、在籍学級で生かせるようにします。そのために共通した手立てを確認することが必要です。 ・関係機関等（病院、放課後等デイサービス、習い事等）の情報を共有します。 	<p>○保護者面談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども、保護者のニーズ ・スマイルプラン、個別の指導計画の確認 <p>○通級指導教室の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導後の連絡、相談 ・連絡帳 ・電話など
<p>〈小学校入学後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマイルプラン ・関係機関 ・発達検査等 	<p>【保護者会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に1～2回程度、通級指導教室に通う児童の保護者が集まり、学習会や懇親会などを行います。日頃の悩みを保護者同士で共有でき、情報交換の場にもなります。 	<p>○保護者会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通級指導教室の運営、指導の様子 ・学習会 ・情報交換

⑤ 配慮すること

- 見通しを持って学習できるように、1時間（2時間）の授業の流れを提示しましょう。
- 在籍学級の子どもたちに通級指導教室に通うことをどのように伝えるのかを保護者や学級担任と確認しましょう。保護者によって考え方は様々です。安心して在籍学級を離れることができるようにすることも大切です。
- 指導時間を守りましょう。次の課題や在籍校に戻る時間が気になって集中できなくなる場合があります。
- 子どもたちが通級指導教室で身につけたスキルを在籍学級や家庭生活に活かすことが大切です。そのためには、楽しい活動を通して自信をつけたり、苦手なことにチャレンジする方法を学んだりすることが必要です。

おすすめの図書資料

☆特別支援教育に関する図書



- ・知ろう！学ぼう！障害のこと LD・ADHDのある友だち 金の星社 笹田哲監修
- ・知ろう！学ぼう！障害のこと 自閉スペクトラム症のある友だち 金の星社 笹田哲監修
- ・自閉症スペクトラム 10人に1人が抱える「生きづらさ」の正体 S B新書 本田秀夫著
- ・自閉症スペクトラムの子のソーシャルスキルを育てる本 講談社 本田秀夫著
(幼児・小学生編、思春期編)

☆学習に関する図書・ワークシート



- ・改訂第2版 通級による指導の手引 解説とQ&A 文部科学省編著
- ・実践！通級による指導 東洋館出版社 大南英明監修 山中ともえ編著
- ・特別支援教育実践 ソーシャルスキルマニュアル 明治図書 上野一彦/岡田智編著
- ・特別支援教育をサポートするソーシャルスキルトレーニング（SST） 実践教材集
ナツメ社 上野一彦監修 岡田智編著
- ・あたまと心で考えようSSTワークシート かもがわ出版 LD発達相談センターかながわ編著
(社会的行動編、自己認知・コミュにケーションスキル編、思春期編)
- ・特別支援教育のSST（初級・中級） 学研 緒方明子監修 伊庭葉子/徳永由弥著者
- ・発達の気になる子の学習・運動が楽しくなるビジョントレーニング
ナツメ社 北出勝也監修
- ・脳力がグングン伸びる！きくきくドリル STEP①②③
文英堂 和田秀樹監修 村上裕成著
- ・コグトレ みる・きく・想像するための認知機能強化トレーニング 三輪書店 宮口幸治
- ・聞き取りワークシート①②③ かもがわ出版 NPOフトゥーロ LD発達相談センターかながわ著
- ・特別支援教育はじめのいっぽ！算数のじかん 学研 小林倫代監修 井上賞子/杉本陽子著
- ・特別支援教育はじめのいっぽ！国語のじかん 学研 小林倫代監修 井上賞子/杉本陽子著
- ・特別支援教育はじめのいっぽ！漢字のじかん80字 学研 小林倫代監修 井上賞子/杉本陽子著
- ・ひらがな読み書き練習セットかるたす はなみずき特別支援教育研究所制作・著作・発行

コラム 2

Q：院内学級(第一中学校・国府台小学校)って？

A：市内にある国立国際医療研究センター国府台病院に併設された自閉症・情緒等の特別支援学級です。国府台病院に入院中や退院後の子どもたちが学校生活を送っており、そのほとんどが長期間に渡り不登校を経験しています。院内学級では、授業の他に病棟と連携して飯盒炊きさんやキャンプ等の校外学習、トリムバレー大会などの行事も実施しています。また、年間を通して「本校」である国府台小学校、第一中学校の授業や行事等にも参加しています。